

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和元年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立産業会館		
指定管理者名	公益財団法人 相模原市産業振興財団		
指定期間	令和元年度から令和5年度		
施設設置条例	相模原市立産業会館条例		
施設の設置目的	産業を振興し、及び市民の産業に対する理解を深める場を提供することにより、市内産業の健全な発展を図り、もって活気とにぎわいのある豊かな都市の創造に寄与すること(相模原市立産業会館条例第2条)		
施設概要	相模原市中央区中央3丁目12番1号 敷地面積 1,369.30㎡ 建築面積 1,038.20㎡ 延床面積 4,836.73㎡ 1階 多目的ホール 2階 展示室 3階 大研修室、小研修室 4階 国際商談室、懇談室(中研修室) 地下1階 OA研修室、多目的室		
施設所管課	経済部 産業・雇用政策課		

2 管理実績

参考資料 資料2 (p.3,5)

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	103,370	98,915	83,111				
利用料金合計(円)	22,619,349	23,426,749	18,406,126				

3 成果指標の達成度

参考資料 資料2 (p.3)、資料3

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による施設休止(3/2~3/31)以前から利用者の利用控えがあり、キャンセルが相次いだ。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響が発生していない12月以前についても、例年と比較し、利用率が下がっていることから、B評価とした。

指標1

指標名(単位)	産業会館施設利用率
指標式と指標の説明	利用率 = 利用日(区分)数 / 利用可能日(区分)数 1日3区分(午前・午後・夜間)で数値は区分で算出 施設休止期間は含まない

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	42.5%	43.0%	43.5%	44.0%	44.5%	45.0%	45.5%
実績値(単位)	44.1%	46.0%	42.3%				
達成度(%)	103.8%	107.0%	97.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況 参考資料 モニタリング基礎シート【様式1】、資料2

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	OA研修室活用事業（無料PC教室）については、利用者の年齢やニーズに応じた講座の受講が可能であり、幅広い層に情報化社会におけるビジネス等で必要不可欠なパソコン、タブレット等に触れる機会を提供したことは評価できる。また、インターネット予約の導入による利用者サービスの向上に取り組んだことは非常に評価できる。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
OA研修室活用事業（無料PC教室）	通年	・産業振興に不可欠なITへの興味をもってもらうことを目的に、幼児から小中学生を中心として幅広い年齢層に対応した講座を用意した。「プログラミング体験教室（年中～小学2年）」、「プログラミング教室（小学3年～中学）」、「パソコン体験教室」を実施した。開催講座数は204、参加者数は323人（80人、125人、118人）	
イベント・コンベンション等産業事業振興の利用促進事業	通年	・企業等のイベント・コンベンション利用等の促進のため全館利用のパッケージ料金を設定し、利用者獲得のために企業訪問など利用促進を図った。全館利用件数：2件 ・ケーティング業者等が必要な場合に備えた市内業者一覧表を提示するなど、主催者等へのサービス・支援活動を行っている	
市民文化活動推進事業	通年	・幼稚園・保育園の演芸会、音楽教室・舞踏教室の発表会など音を出す利用区分として、多目的ホールと2階及び3階を同時に利用した場合のパッケージ料金を設定し、利用者サービスの向上や利用の促進を図っている。利用件数：8件	
トライアル発注認定製品展示事業	通年	・相模原市トライアル発注認定製品の紹介として、パンフレット等を会館施設内に配架するとともに、1階ロビーの壁面に紹介シートを掲示し周知を図るなど、認定製品の販路の開拓及び拡大を支援している。	
財団事業の会館活用事業	通年	・産業振興財団が実施する「国際化の支援に関するセミナー」や「SOHO支援事業」「コミュニティビジネス推進事業」を産業会館で実施し、利用機会の充実を図るとともに、産業会館から産業振興の情報を発信した。	
自動販売機活用事業	通年	・館内に設置する自動販売機の売上を伸ばすことで販売数量に応じた手数料収入をあげる取り組み。 ・設置数 5社5台 手数料総額 300千円	
産業会館利用促進事業	通年	・産業会館の認知度をあげ、会館の良さを知ってもらうことで利用促進を図ることを目的に、産業会館まつり（パソコンプログラミングコンテスト）を3月に予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。また、利用者サービスの向上や利用促進を図るため、インターネット予約を開始した。	

5 利用者の満足度 参考資料 資料2、資料4 - 1 ~ 3

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	令和元年度は利用者満足度の目標値を設定していないが、資料4 - 1 ~ 3の利用者アンケートにおいて「満足である」「どちらかとうとう満足である」という意見が9割を超えているため、A評価とした。今後は、サンプル数を増やす等により、より多くの利用者の意見を取り入れ、利便性の向上に努めていただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者に対し「お客さまアンケート」を実施 時期:令和元年10月1日~31日 サンプル数:58件
目標値の基準	目標値は設定せず、満足度等経年比較を行う項目と社会情勢等の変化に応じた設問を設定して行い、利用者ニーズの把握と要望・改善点を募集している。 令和2年度以降は目標値を設定し、達成度を算出予定

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）							
実績値（%）							
達成度（%）							

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	受付窓口に「お客さまの声」を記入する用紙と投函ボックスを設け、いつでも意見要望を受け付け、必要な対策を講じる体制を採っている。
パソコン教室アンケート	随時	産業会館の無料PC教室参加者アンケートで、直接満足度を問う設問はないが、参加者の属性、受講目的等の設問から、利用者ニーズ、要望等を吸上げ、満足度の向上に活用している。

6 施設の経営状況 参考資料 様式2 - 1 ~ 2、様式3、資料5、資料6

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	決算において収入が支出を大きく上回っている。 また、公認会計士である選考委員の意見として、様式3のとおり報告されていることを踏まえ、S評価とした。

施設の収支概要	直近3年間について記載			（千円）
項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
収入（a）	91,031	92,069	86,685	
指定管理料	66,997	67,001	67,374	
利用料金収入	22,619	23,427	18,406	
その他の収入	1,415	1,641	905	
支出（b）	86,719	89,373	84,307	
人件費	16,744	18,789	18,838	
本社管理経費	0	0	0	
その他の支出	69,975	70,584	65,469	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	4,312	2,696	2,378	
自主事業収入（d）	1,426	1,426	512	
自主事業支出（e）	3,747	3,337	220	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	-2,321	-1,911	292	
全体収支 【(c)+(f)】	1,991	785	2,670	
備考	利用料金収入の減収は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設閉鎖（3月2日~3月末）と利用者自身の利用控えによるものが大きい。支出額の減少については、夏季気候差による光熱費の減少や会館管理運営費の節減努力による。自主事業については、科目の見直し（自販機手数料）とPC教室委託業務契約の見直しにより収支金額に大きな差異がある。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況	参考資料	資料5
--------------------	------	-----

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年3月24日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	今後、マニュアル整備をする必要がある。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

・管理業務全般について、令和元年度からWeb予約を開始し、利用者利便性の向上が図られた。お客さまアンケートの職員態度・説明の分かりやすさ・全般評価が9割以上から良い評価を得るなど、日常業務の窓口、案内業務でも確実、的確な対応がとれていると考えている。また施設・設備管理についても、光熱水道費など気候的要因だけでなく適切な管理により、経費の削減が出来ている。しかしながらコロナ禍とはいえ利用率が前年値・目標値を下回ったことから、自主事業のさらなる推進や、広く利用者のニーズを確認して、機材等利用環境を整備し、コロナ禍にも対応した取り組みを進め利用率の向上を図りたい。

9 所管課意見

・施設や設備の老朽化により管理運営が困難であるが、限られた予算の中で利用者の安全性確保とインターネット予約の導入による利用者の利便性向上に取り組まれたことは高く評価できる。

・常に産業会館の設置目的を念頭に置き、利用者の立場に立った施設管理がされており、アンケート結果も職員の迅速・丁寧な対応を評価する結果となっていることから、引き続き利用者満足度の向上に努めていただきたい。

・新型コロナウイルス感染症に起因した予約キャンセルに伴う施設利用料金の還付手続きを迅速かつ適切に対応した点は高く評価できる。

・新型コロナウイルス感染症の影響により施設の利用ニーズが落ち込んでいるが、新しい生活様式を踏まえた施設運営を実施し、利用者が安心して利用できるような環境整備を行うことで、コロナ禍での利用促進に取り組んでいただきたい。

10 選考委員会意見

- ・ 公的団体として真面目にやっていることやインターネット予約の導入など、努力されていることは評価できる。
- ・ 請け負っている公益財団法人との間で、シナジー効果を生む事業が少ないため、外国人受け入れセミナーや国際化セミナーなどもこの会館での実施が一案である。
- ・ セミナー、イベントなどの民間企業の利用が少なく、そうしたところの定期的利用などを促進するべきである。
- ・ 近隣に同種の貸館が多数ある中で、利用率の向上に苦慮されていることと思う。利用者アンケートによれば、利用さえしていただければ、相応の評価をいただいているようなので、会館の設置目的を達成するためにも、運営団体の本来事業との連携を更に強化することなどにより、産業界利用の促進を図っていただきたい。

総合評価（自動判定）

